

有害プランクトン情報

(平成 30 年度 - No. 10)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月 1 回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

○ 調査日	沖合	1 月 第 1 回	内湾 (8 地点)	1/11	内房 (7 地点)	1/10
		1 月 第 2 回	内湾 (8 地点)	1/22	内房 (7 地点)	1/21
	貝類漁場内	—				

【有害プランクトンの出現状況】

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上) は確認されませんでした。
※ シャットネラ属は 1 細胞/mL, ヘテロシグマ属は 1000 細胞/mL, カレニア属は 100 細胞/mL を超えた場合に注意報を発出します。

【貝毒プランクトンの出現状況】

- 麻痺性貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。
- 下痢性貝毒原因プランクトンの最高密度は、ディノフィシス アキュミナータが 1/22 に羽田沖で 1.10 細胞/mL でした。なお、同種は 5/22 に羽田沖で 19.35 細胞/mL まで増加しましたが、被害情報はありませんでした。他種はディノフィシス ロツンダータが 1/22 に羽田沖及びアクア南で 0.15 細胞/mL でした。(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

1/11	内湾	珪藻	スケルトネマ属 (図 1)
1/10	内房	珪藻	キートセロス属, スケルトネマ属
1/22	内湾	珪藻	スケルトネマ属
1/21	内房	珪藻	キートセロス属, スケルトネマ属, タラシオシラ属 (図 2)

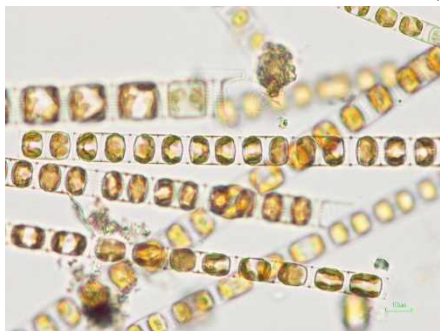


図 1 スケルトネマ属
(1/11 船橋)

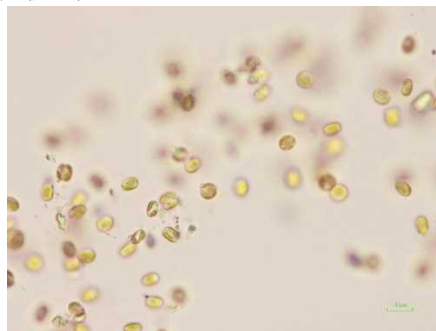
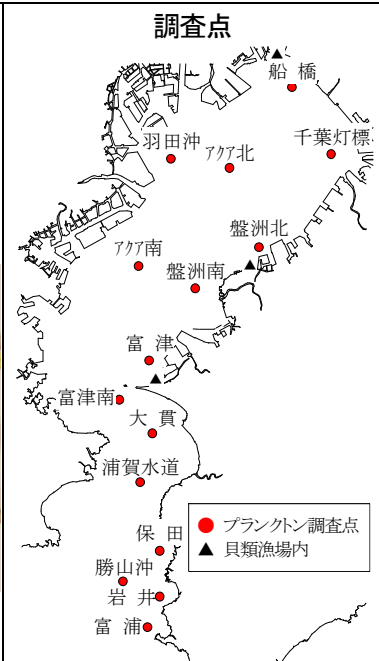


図 2 タラシオシラ属
(1/21 大貫)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp